



スクラム

新年特別号

scrum

■本年もよろしくお祈りします

新年明けましておめでとうございます。登録医の先生方には、日頃なにかとご指導、ご鞭撻を賜り心より感謝申し上げます。昨年秋以降は、アメリカのサブプライムローン問題に端を発した金融破綻がマスコミをにぎわしており、それまで話題となっていた年金・医療・介護などの社会保障の問題は取り上げられなくなっています。しかし、社会保障国民会議の報告にみられるように、これまでの社会保障政策では日本の医療が守れないとの認識が、国民の間で徐々に広まっているように思われます。このような時こそ、医療にかかわるものとして日本の医療制度の在り方をしっかりと考えていかねばならないと身が引き締まる思いであります。



病院長
高田 重男

金沢市立病院の経営改善プランは、本年で3年目を迎えます。本プランでは“新しいタイプの地域連携型病院”を目指しており、少しずつではありますが実効が上がってきております。近年、かかりつけ医と病院、病院間の機能分化が推進され、地域連携クリティカルパスの作成が行われています。かかりつけ医と病院の機能分化は極めて重要ですが、機能分化を進める上で“患者さん”を中心に据えた視点がないと欧米のように失敗に終わります。すなわち、“患者さん”が安心して医療を受けられるためには、“患者さん”の目線に立ったかかりつけ医、介護・福祉施設と病院の地域連携が最も重要なことと思われれます。地域連携クリティカルパスにも、考え方の統一が必要です。本来、入院患者の医療の標準化、チーム医療の推進に用いられてきたクリティカルパスを地域連携にまで広げることは無理があります。長期間に及ぶ病診連携を円滑に行うためには、医療の標準化とともに個々の患者さんの特性に見合った（個別化された）ケアマップを作成し、その作成に協働して当たるのが良いと思われれます。

金沢市立病院では、昨年度は地域連携室の拡張、出張メタボリック教室・手洗い教室などを行い、地域連携通信も“スクラム”と改称し新しい編集スタッフで取り組んでおります。また、本年1月からは退院支援の専従者も配置いたしました。今後さらに、“患者中心の地域連携”を推進していくために、先生方とご相談し、ご教授を受け新しいシステムを作っていきたいと考えております。本年もよろしくご指導お願いいたします。

★金沢市立病院 地域連携室

TEL:245-2626 FAX:245-2693
お問い合わせ・ご予約などお気軽にご連絡ください。

<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/36001/byouin/index.jsp>



■金沢市立病院の取り組み（平成20～21年）

当院は「地域連携型病院」として、かかりつけ医の先生方と病院が、地域住民の方々や患者さんを中心に密接な連携を図り、地域住民の方々の健康と生命を守るため、下記の取り組みをおこなっております。

1. 「呼吸器科病診連携の会」発足（呼吸器科）

気管支喘息・肺気腫・睡眠時無呼吸症候群など呼吸器疾患を合併する患者様の診療をさらに改善することを目的として、病診連携の会（KANAZAWA CHEST CLUB：仮称）を発足することになりました。

呼吸器疾患の日常診療にすぐに役立てていただける内容を中心に現在準備を進めております。詳細に関しましては、後日ご案内させていただく予定です。

2. 「循環器救急患者の受け入れ」強化（循環器科）

救急受け入れ態勢の強化、経皮的循環補助システム（PCPS）の導入など循環器救急疾患診療環境がさらに充実されました。これまで以上に急性心筋梗塞などの循環器救急疾患の治療に積極的に取り組む方針です。

3. 「皮膚科往診」の開始（皮膚科）

登録医の先生方の依頼を受けて皮膚科疾患や褥瘡の患者さんの往診をいたします。あらかじめのご予約を頂き日時を予約して診療所または患者さんのご自宅に伺います。地域連携室までご連絡ください。

4. 「小児科・耳鼻咽喉科の診療時間」の延長

外来診療サービスの拡大を目的に、小児科・耳鼻咽喉科外来診療を17時まで行います。

5. 金沢METSの会（内科）

平成19年より、当院および登録医の先生と年2回のメタボリックシンドロームの勉強会を開催しています。20年より金沢市内の複数の病院と当番幹事を持ち回りで開催しています。地域連携・医学に関する幅広い研究活動を通し、その発展に貢献するとともに、保健・医療などを通じ、社会に寄与することを目的としています。

6. メタボリックシンドロームセンター出張講習会（メタボリックセンター）

平成20年4月に発足しましたメタボリックセンターでは、登録医の先生方のクリニックへ、看護師、管理栄養士が赴き、生活指導、食事指導の講習会を始めました。御要望の先生は、地域連携室へご連絡下さい。日程を調整させていただきます。

7. 高血圧臨床研究の開始（内科）

当院および登録医の先生と高血圧に関する臨床研究を開始し、より良い血圧コントロール、病態の解明への取り組みを開始しています。

8. 認定看護師の資格取得（看護部 教育開発室）

認定看護管理者と集中ケア認定看護師が誕生しました。

このたび「認定看護管理者・サードレベル」を中西容子が、「集中ケア認定」を西村佳子が取得しました。今後、地域連携型病院として各施設の看護師さんたちと共同で、看護の質を上げていくため、がんばっていきたいと意気込んでいます。